

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆1月の訪日客数が単月最高 春節追い風、中国客倍増

・日本政府観光局(JNTO)が19日発表した1月の訪日客数は378万1200人だった。単月として過去最高を更新した。1月末から春節(旧正月)が始まり、中国などアジア圏からの来訪者が増えた。ウインタースポーツの需要が旺盛でオーストラリアや米国からも多くが訪れた。前年同月の268万8478人から40.6%増えた。

◆貿易収支、1月は2.7兆円の赤字 2カ月ぶりマイナス

・財務省が公表した1月の貿易統計速報によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は2兆7587億円の赤字だった。2カ月ぶりに貿易赤字となった。赤字幅は前年同月に比べて56.2%増えた。中国の春節(旧正月)の影響が赤字の要因になった。全体の輸入は前年同月比16.7%増の10兆6225億円、輸出は7.2%増の7兆8637億円。

◆能登の廃瓦を道路材に 国内最大・愛知の瓦組合が供給網

・国内最大の瓦ブランド「三州瓦」で知られる愛知県の産地組合が、能登半島地震で発生した廃瓦を道路の材料などに再生させる取り組みを始める。瓦を砕いて作った土木資材の供給網を現地企業や自治体と構築し、復興工事への活用を促す。地域完結型のリサイクルを進め、国内各地で課題となっている瓦の処分問題の解決をめざす。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆上下水道値上げの自治体拡大、24年度3割増 不採算多く

・上下水道料金の値上げが広がっている。2024年度の引き上げは神奈川県など全国で延べ170以上の自治体に上る。前年度より3割増え、ここ10年で最も多い。人口減少に伴う収入減と物価高により、水道事業の大半は採算割れの状態にある。財源不足で老朽施設の改修が追いつかず、国も支援強化に動いている。

◆機械受注見通し、1～3月2.3%減 24年10～12月は2.9%増

・内閣府が発表した機械受注統計によると、設備投資の先行指標とされる民需(船舶・電力を除く、季節調整済み)は1～3月期に前期比2.3%減の2兆5980億円となる見通しだ。製造業、非製造業ともに減少に転じ、2四半期ぶりのマイナスを見込む。2024年10～12月期の民需は同2.9%増の2兆6587億円だった。

◆首都圏マンション発売44%減、1月で過去最少に

・不動産経済研究所が発表した1月の首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の新築マンション発売戸数は、前年同月比44%減の620戸だった。都内を中心に供給が滞り、1月としては50年ぶり過去最少となった。平均価格は8%減の7343万円で2カ月ぶりの下落となった。地域別の供給戸数をみると、東京23区は59%減だった。

《 注目商品 》

■LIXIL、内装壁機能建材「エコカラットプラス」

・優れた調湿機能に加え、気になるニオイやホルムアルデヒドなどの有害物質を低減し、室内の快適な空気環境づくりをサポートする内装壁機能建材「エコカラットプラス」に、玄関や洗面・ランドリー空間におすすめの「リブスレート」「シングレース」「ルランジュ」の3商品を発売。



■アリアフィーナ レンジフード「Angelina(アンジェリーナ)」

・天井が低い、梁があるなど、構造上の制約があるキッチンにも柔軟に対応することができるフレキシブルモデルのレンジフード。このほどモデルチェンジを行い、低天井や梁への対応範囲を拡大し、リフォームなどでさらに使用しやすくなった。



■YKK AP、アルミ屋根カーポート「PLAIN ROOF(プレーンルーフ)」

・建物に馴染む水平垂直のシルエットとスリムな屋根形状、ノイズレスなディテールが特徴のアルミ屋根カーポート。住まいに合わせて選択できる個性豊かな全11種類のカラーバリエーションをラインナップ。「枯葉除けネット」、「柱下排水部品」を標準装備。

